

市民への情報発信の在り方

荒井 勇雄

坂元・荒井



図 偏った報道を防ぐには、情報公開や市民が直接情報を得る機会を増やすべきだと考えますが、いかがですか。
市 答 広報誌やSNSなどで市政情報を直接発信しており、今後も効果的に情報発信を行っていきます。

学校給食費の未納額増加対策

波田 大専

日本維新の会



図 効果の低い未納者への催告費に税金を投じるより、給食費を無償化すべきだと考えますが、いかがですか。
市 教委 答 未納対策は、法的措置の開始などにより強化します。無償化は国の動向を注視して検討します。

ひとり親世帯の親の通院費助成

山口 かずさ

山口かずさ



図 賃金の上昇が物価高に追い付かず、ひとり親家庭の生活は厳しい状況です。ひとり親課税世帯の親の通院費も助成対象にすべきだと考えますが、いかがですか。
市 答 拡充には将来にわたり多額の自主財源が必要であり、慎重な検討が必要です。本来、国が全国一律で実施すべきであり、統一的な制度の創設を要望しています。

市民自治の推進に関する市民への説明責任

米倉 みな子

市民ネットワーク北海道



図 住民投票条例の制定に関する代表質問の市長答弁に誤りがあったことを広報さっぽろに掲載し、市民への説明責任を果たすべきだと考えますが、いかがですか。
市 答 答弁の一部に引用の誤りがあったため、市民に誤解を与えたことの間諱とおわびなどを市ホームページに掲載しており、市民への説明は十分に行っています。

委員会の主な活動状況 (2/11~3/10)

厚生委員会

陳情第38号「敬老バス並びに健康アプリについての新提案の再考を求める陳情」の初審査を行い、継続審査としました。また、健康寿命延伸に向けた高齢者施策（案）に係るパブリックコメントの結果について保健福祉局から説明を受け、質疑を行いました。(2/14)

※市教委=市教育委員会

編集 議会事務局政策調査課 ☎ 211-3164 ☎ 218-5143 ■市議会ホームページ www.city.sapporo.jp/gikai

敬老優待乗車証（敬老バス）交付費の予算、教材費などの負担軽減

佐藤 綾

日本共産党



図 敬老バス新制度のシステム改修費などを含む2025年度予算案が可決されても、2026年4月からの新制度実施まで認められたものではないと考えますが、いかがですか。
市 答 新制度の実施案は、市民や議会との議論やパブリックコメントの結果を踏まえ、さまざまな世代から一定の理解が得られる内容と判断しています。今回の予算案は、実施案のとおりに進める前提で提案しており、成立した際には、実施に向けたシステム改修に着手します。

図 小中学校の教材費や制服代などの補助を行うべきだと考えますが、いかがですか。

市 教委 答 各学校には費用削減を図るように促しており、費用負担が困難な家庭には就学援助制度で支援しています。今後も各学校による保護者負担の軽減を促進します。



高齢者に対する歯科口腔保健対策の推進

三神 英彦

自由民主党



図 さらなる高齢化への対応や市民の健康寿命の延伸を図るため、口の機能の低下を指すオーラルフレイルの対策や誤嚥性肺炎の予防など、歯科口腔保健対策を力強く推進すべきだと考えますが、いかがですか。
市 答 歯科医師会などと連携して、75歳以上を対象に3区で開始したオーラルフレイルの状態確認と個別指導を行う講座を、2025年度からは全区に展開する予定です。また、高齢者の誤嚥性肺炎予防のための人材育成や介護現場との連携などについて検討したいと考えています。

真駒内駅前地区の開発

あおい ひろみ

民主市民連合



図 真駒内の特徴を踏まえた開発には、地域へ継続的な情報提供を行い、真駒内らしい景観を大切にしたいなどの地域の思いに耳を傾けながら丁寧に進めることが重要だと考えますが、今後どのように取り組んでいきますか。
市 答 引き続き丁寧な情報提供と地域の思いを反映させることに努め、民間のノウハウやネットワークを積極的に取り入れながら、都市機能の集積と自然環境が調和した真駒内らしい開発の実現に取り組めます。

SOGIハラスメントのない社会に向けた取り組み、持続可能な公共交通ネットワークの維持

たけのうち 有美

民主市民連合



図 性的マイノリティーの人権を守る取り組みを進めてきた本市において、性的指向や性自認に関与するハラスメントである「SOGIハラスメント」のない社会に向けた取り組みをどのように進めますか。
市 答 「SOGIハラスメント」は、個人の尊厳を傷つける行為であり、決して許されるものではないと認識しています。これまでも市民や企業に対して同ハラスメント防止の啓発に取り組んできましたが、今後もさまざまな機会を活用し、理解促進に努めていきます。

図 路線バスの運転手不足が深刻化し、減便や路線廃止など市民生活に深刻な影響を与えています。持続可能な公共交通ネットワークの維持には、継続的な運転手確保の取り組みが必要だと考えますが、どのように進めますか。
市 答 採用運転手の就労一時金への補助など、バス事業者を後押しする新たな施策を展開します。その効果の定期的な検証と有効な施策の継続的な実施により、運転手確保を支援したいと考えています。



2040年に向けた「創造的福祉社会」の構築、ていねプールの再整備

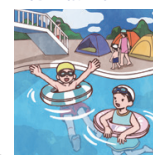
福田 浩太郎

公明党



図 高齢者人口のピークと生産年齢人口の激減が予想される2040年に向けて、我が党が構築を目指す「創造的福祉社会」をどのように考えますか。また、人々が地域で安心して暮らし続けるためには、特に介護サービスの質と量の向上が重要だと考えますが、どのように進めますか。
市 答 人々がつながり支え合い、個性や能力を認め合う「創造的福祉社会」を目指すことは重要です。また、介護サービスの人材確保・定着に向けて、若年層への啓発やICTを活用した生産性の向上などに取り組んでおり、今後も国などと連携して質と量を向上させていきます。

図 老朽化が進む「ていねプール」は、本市に必要な施設として、にぎわいと需要の創出による再整備を行うべきだと考えますが、いかがですか。
市 答 公設公営にとらわれず、民間の資金やノウハウを生かした新たなにぎわいや需要の創出などを検討し、どのような対応や手法が適切かを見極めたいと考えています。



市議会の動き

2月13日に招集された第1回定例会の中から、2月19～21日の代表質問の主な内容や、3月10日までに可決した議案などについてお知らせします。

第1回定例会 (3/10までに可決した議案など)

〇令和6年度一般会計補正予算

主に次の内容で総額約62億2,574万円を補正するものです。

- ・物価高騰対応臨時給付金の追加
- ・小中学校などの学校給食費の追加

〇犯罪被害者等支援条例案

〇パレスチナでの停戦合意の完全履行等を求める決議

など、合計33件の議案などを可決しました。

代表質問の映像はこちらから▶



「誰もがつながり合う共生のまちづくり条例案」に対する市民の意見、月寒体育館の更新

小竹 ともこ

自由民主党



図 「誰もがつながり合う共生のまちづくり条例案」には、報道が少ない中でも反対や懸念の意見が多数寄せられていますが、現状をどのように考えますか。
市 答 条例に前向きな意見がある一方、日常生活で生じ得る外国人などのトラブルを心配する意見が多い認識です。条例の目的は、こうしたトラブルにも対応できる社会の実現であり、「誰もが安心して生活し、活躍できる社会」の実現を目指して取り組んでいきます。

図 月寒体育館は老朽化が進んでおり、早急な施設の更新が必要です。後継施設の建設候補地である大和ハウス プレミストドーム周辺をスポーツ交流拠点にする方向性や進め方、また後継施設の整備の完了時期を伺います。
市 答 現在、民間活力を導入してアリーナなどを整備する事業者からの提案について、実現可能性を含めた精査をしています。2025年度には検討委員会を立ち上げ、導入すべき機能や事業手法などを検討して基本計画を取りまとめます。後継施設は、2030年ごろの完成を目指したいと考えています。

